

いまや、パーソナルコンピュータの稼働台数は100万台を軽く突破し、パソコンはオフィスにおいても大変みじかなものになりました。デスクキットは、パソコンを更にみじかな道具として活用できるように、通常机の上にある様々な道具(時計、電卓、電話帳、予定表、メモ帳)の機能をパソコンの中で実現するためのソフトウェアです。

デスク・キット の特徴

1. どのようなプログラムが動いても、COPYキーを押すだけで、稼働中のプログラムが中断され、デスクキットが割り込みモードで走行します。
2. デスクキットは、ポップアップウィンドを採用しているので、中断しているプログラムの画面表示を乱すことなく走行します。また、デスクキットが終われば、中断していたプログラムの画面が完全に復帰し、中断していたプログラムをそのまま続けることができます。
3. デスクキットと、PC-8269等のオートダイヤル機能付の電話機を併用することにより、デスクキットの電話帳の中から、ワンタッチで電話をかけることができます。
4. デスクキットを付加したMS-DOSシステムのもとでは、デスクキットのアラーム監視機能が、常時平行して走行しており、セットした日時になると、どんなプログラムが動いていてもアラームが鳴るようになっていきます。
5. デスクキットの各機能は、実際のものと同じイメージでカラーグラフィック表示され、またその操作もいたって簡単です。
6. デスクキットは、C言語で記述されており処理が高速です。

必要機器構成

- PC-9801シリーズ本体
 - PC-9801-I0 漢字ROMボード
 - メインメモリ(RAM) 256KB以上
 - 専用高解像度カラーディスプレイ
 - 8インチまたは、5インチフロッピーディスクユニット及びそのインターフェース・ボード(また、ハードディスクにも対応できます。)
 - MS-DOS Ver. 2. X システム・ディスク
- また以下のオートダイヤルのできる電話機をPC-9801の本体に接続すれば、デスクキットの電話帳の中からワンタッチで電話をかけられます。
- NEC PC-8269 インテリジェントテレホン
 - オキシステムホン モデル 1 (DI2009-A 又は DI2009-B)

割り込みモードの使用方法

起動方法：割り込みモードのデスクキットを起動するには、単にCOPYキーを押すだけで起動させることができます。また割り込みモードでは、どんなプログラムが稼働中であっても、COPYキーを押さえれば、稼働中のプログラムが中断されデスクキットが起動します。

(1) 拡張画面コピー機能

テキスト画面、グラフィック画面、そして両者の混在画面のハードコピーができます。

(2) 時計機能

システム時刻を示す通常の時計と、タイマー時計、世界時計がグラフィック表示されます。また、時計機能では、以下の操作が可能です。

1. 時計の移動
2. 日付の変更
3. 時刻の変更
4. タイマーのリセット
5. 世界時計の変更

(3) カレンダー機能

祭日付の万年カレンダーがグラフィック表示されます。また、カレンダー機能の中では、以下の操作ができます。

1. カレンダーの移動
2. カレンダーのスクロール

(4) 電卓機能

デスクキットの電卓は10進電卓と16進電卓の両方に使えます。また、普通の電卓と同じように数式どおりにデータを入力すれば使えます。

(5) 電話帳機能

デスクキットの電話帳には、電話帳の参照機能とオートダイヤル機能の2つの機能をもっています。電話帳の並びは、文字コード順に表示されます。尚、電話帳への登録、編集などは、後述のDESK, EXEで行います。

また、オートダイヤルをするには、オートダイヤルのできる電話機(NEC PC-8269 又は、オキシステムホン)が、RS-232Cポートを介して接続されている必要があります。

(6) スケジュール機能

デスクキットのスケジュール機能には、予定表の参照機能と、予定の日時になるとアラームを鳴らす2つの機能をもっています。尚、予定表への登録、編集などは、後述のDESK, EXEで行います。

(7) メモ帳機能

3種類のメモ(各最大30文字×120行)の参照ができます。尚、メモ帳の内容の修正追加等の編集は、後述のDESK, EXEの中で、行えます。

DESK.EXE(コマンド・モード)の 使用方法

割り込みモードで走行するデスクキットでは、電話帳や予定表等のディスクファイルにデータを書き込むこ

とができません。そこで、ディスクファイルにデータを書き込むことができるDESK, EXEが用意されています。

DESK, EXEは、MS-DOSの通常のコマンドレベルで使用できるデスクキットのプログラムで、割り込みレベルのデスクキットのすべての機能を含み、操作方法もほとんど同じ形式に統一されています。起動方法：DESK, EXEを起動するには、MS-DOSのシステムプロンプトの状態では以下のコマンドをキー入力します。

A>DESK

(1) 設定機能

PC-9801の機種(F, M, E等)指定や電話の機種の指定を行います。

(2) 電話帳編集機能

次の電話帳編集機能をもっています。

1. 電話帳の変更
2. 電話帳の追加
3. 電話帳の削除
4. 電話帳の印刷

(3) スケジュール編集機能

次のような編集機能をもっています。

1. スケジュールの変更
2. スケジュールの追加
3. スケジュールの削除
4. スケジュールの一括削除
5. スケジュールの印刷

(4) メモ帳編集機能

通常のフルスクリーン・エディターと同等の、次のような豊富な編集機能をもっています。

1. 方向キーによる上下左右のカーソルの移動
2. 文頭の表示
3. 文末の表示
4. 前ページの表示
5. 次ページの表示
6. 題名の変更
7. メモの印刷
8. 文字の変更
9. 文字の削除
10. 行の削除
11. 全文の削除
12. 空白文字の挿入
13. 行の分割(改行)
14. 空白行の挿入
15. タブ機能